工学部　建築デザイン学科

2017度入学生カリキュラム

＜カリキュラム情報＞

◆カリキュラム・ポリシー ……p.2

教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。

◆カリキュラム・マップ［武蔵野 BASIS・学科科目］ ……p.4

科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。

◆卒業所要単位数 ……p.6

必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。

※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。

◆開講表［武蔵野 BASIS］ ……p.7

武蔵野BASIS(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。

◆ 開講表［学科目］ ……p. 10

学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。

◆履修モデル ……p.11

学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。

※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認したうえで履修計画を立ててください。

◆成果に基づき単位認定される科目 ……p.12

「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

建築デザイン学科 カリキュラム・ポリシー

建築設計はもとより、家具やインテリア空間からランドスケープや都市空間に至るまで、学ぶ領域の幅広さが建築デザイン学科の特徴です。軸足となる建築という専門性をしっかりと身につけ、設計製図を中心とした多くの課題に取り組むことにより、アイディアを形にし、それをプレゼンテーションする訓練を積み重ねていきます。全員が一級建築士を目指せる学科独自のカリキュラムで専門性を高め、社会とつながる多彩なプロジェクトへの参加を通じて、学士力を磨きます。そのため、以下のカリキュラム群を用意しています。

＜分野別科目＞

計画系・構造系・環境系など、幅広い専門分野の科目群で構成されています。分野毎の知識・技術を段階的に修得し、カリキュラムが進行する中で課題発見や課題解決、論理性と創造性、表現とコミュニケーションの力を培い、他分野との関連を学ぶ構成となっています。

＜統合科目＞

「設計演習」「プロジェクト」「ゼミナール」と位置づける３つの軸で構成し、分野別科目で得た専門の知識や技術を用い、それらを統合してデザインや研究に取り組む力を身につけます。「設計演習」は、個人で課題に取り組むデザイン演習です。デザインの基礎から、建築の設計課題、そして２Ｄ・３ＤのＣＡＤを用いたデザイン演習で構成されます。「プロジェクト」は、多学年の学生が協働して活動する演習授業で、本学科の大きな特色の１つとなっています。作品づくりやフィールドワークなどに取り組みます。「ゼミナール」は、教員の指導のもと実践的・主体的に研究・制作に取り組む科目です。その集大成が「卒業研究（論文・制作）」となっています。

知識・専門性 ：学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】
建築に関する豊かな教養を修得し、多様化する現代社会の課題を主体的に発見・解決するための基礎的学力を身につけている【教養・基礎学力】
建築学における計画系・構造系・環境系の知識・技能を体系的に身につけている【専門能力】

専門的な分野を学ぶための基礎学力を養うために、「武蔵野BASIS」では、「心とからだ」「学問を学ぶための基礎」「外国語」「自己理解・他者理解」の4つの分野をバランスよく配置し、少人数制のゼミナールや授業を通してグループワークやプレゼンテーションなどの訓練を重ね、より実践的なコミュニケーション力やチームワーク形成力などを養います。教養を深めるため、「基礎セルフデベロップメント」では学部・学科の枠を越えたグループワークで、哲学、現代学、数理学、世界文学、社会学、地球学、歴史学の7テーマ群学びます。
建築学は計画系・構造系・環境系など専門領域の裾野が広く、その建築の教養を通して、現代社会が抱える課題と多方面で直結します。また、建築における表現技術は、主体的な課題発見や解決の礎を築きます。そのため、「CAD1」などを通じて表現技術の基礎を修得し、「建築計画」「日本の建築」「建築構造」など各専門領域の講義系科目を通じて基礎的学力を身につけます。

計画系・構造系・環境系など、建築学の知識・技能を体系的に身につけるために、科目構成が鍵となります。「建築材料」「建築施工法」「建築法規」は前述の3つの系以外の分野に属し、建築のデザインを実践する上で必要な知識・技能を修得する科目の例です。計画系・構造系・環境系の科目群、そして事例を直接目にする体験とともに、専門的見地から建築のデザインを構想し他者に説明できる力を養います。

関心・態度・人格 :他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

建築分野における持続可能な社会の構築に必要な課題を発見することができる【課題発見力】
学生が主体的にテーマを設定し、企画立案・運営・検証までを行うことができ、計画を最後まで粘り強く実行する能力を修得している【主体性・実行力・ストレスコントロール力】

課題発見力を段階的に養うために、1年次「基礎ゼミ」「空間表現論」では、建築への関心を高め建築的思考の基盤を築きます。3年次「建築学演習」では、現代的な建築の課題にグループワークで取り組み、専門性を高めます。4年次「卒業研究」では、指導教員のもと一人ひとりがテーマを掲げて研究・制作に取り組む中で、建築的な課題発見力を身につけます。
テーマ設定から成果発表までの主体的活動を通して実行力とストレスコントロール力を養うために、設計演習・プロジェクト・ゼミナールの統合科目群があります。1年次「基礎デザイン1,2」では建築の図面・模型等の作品制作を通して、2,3年次「設計製図1,2,3,4」では具体的な建築設計課題を通して、個人で求められた成果物を期日内にまとめる力を身につけます。「プロジェクト1,2,3,4」では、学外での成果発表も視野に多学年が協働して作品づくりやフィールドワークに取り組む中で、主体性・実行力・ストレスコントロール力を身につけます。

思考・判断 :課題を多角的に捉え、創造的に考える力

建築の専門知識を用いて、論理的な思考と創造的な発想力を使って、多面的に判断をすることができる【情報分析・論理的思考・判断力】
課題の本質を捉えて、論理的な思考と創造的な発想力から分析を進め、課題解決策を導くことができる【課題解決力】
課題解決のために、デザインアイディアを出し解決案を提示することができる【創造的思考力】

論理的思考と創造的な発想力を養うために、2年次「設計方法論」ではその基礎を修得します。3年次「建築学演習」では、専門性の高い課題に対する多面的な情報分析力・論理的思考力・判断力を養います。
仮説・調査・分析のもと課題解決の力を養うために、3年次「建築学演習」では同じテーマを掲げたゼミ形式のグループワークに取り組みます。4年次「卒業研究」では、指導教員のもと一人ひとりが個別のテーマを設定して研究・制作に取り組み、論理的思考や創造的な発想力を用いた課題解決策を導く力を養います。
分野別科目で得た知識や技術を統合してデザインなどの提案する力を養うために、2,3年次「設計製図1,2,3,4」では、小規模から大規模、単一用途から複合的用途、私的利用から公共利用、敷地・構造のヴァリエーションなど、設定条件の異なる設計課題を通して創造的思考力を身につけます。4年次「卒業研究」では、後期に作品制作の機会があり、その集大成と位置づけています。「プロジェクト1,2,3,4」では、協働で取り組む中で創造的思考力を身につけます。年度毎のカリキュラムの優秀作品を記録・保存・公開することで、より発展的な創造的思考力を培います。

実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、意見交換できる【コミュニケーション力】
課題の解決策において、文章・図面・模型など多様な方法を用いて、自らの考えを的確に表現することができる【表現力】
他者の立場に立った視点からプレゼンテーションを行うことができる【表現力】
集団の中での役割を理解し、他者と協調しながら協働作業を行うことができる【チームワーク力】
目標実現のために必要な方向性を示し、工程を組むことができ、実行することができる【リーダーシップ】

制作・研究成果を用いてコミュニケーション力を養うために、2,3年次「設計製図1,2,3,4」などでは、きめ細やかな指導を行うスタジオ制とTA・SAによるサポートのもと、講評会・発表会でプレゼンテーションに取り組みます。質疑応答を通して、論理的に意見交換できる力を身につけます。「プロジェクト1,2,3,4」・4年次「卒業研究」では、学外での活動や発表を視野に据え、より高度なコミュニケーション力を培います。
多様な表現力を身につけるために、1年次「基礎デザイン1,2」では図面・模型など表現の基礎を、「CAD2,3,4」では最先端の2Dから3DのCAD技術を修得します。「設計製図1,2,3,4」では手描き・CADを含めた図面・模型・パネルとスライドを用いて、教員と学生が一同に介するプレゼンテーションに取り組みます。4年次「卒業研究」では、培った表現力を発揮して、作品づくりに取り組みます。「プロジェクト1,2,3,4」を含めた数多い作品の蓄積の中から、優秀作品展の開催、優秀作品集の刊行などを通して多様で高度な表現力を養います。
自律的に協働作業を行う力を養うために、「プロジェクト1,2,3,4」では、木工・コンピュータ・製本・フィールドワークなどの場を多学年の学生で協働した活動をする中で、参加学生はチームワーク力を、上級生はリーダーシップを身につけます。4年次「卒業研究」などのゼミナールでは、教員からの指導だけではなく、ゼミナールの所属学生が協働して学内外で活動する場を通じて、チームワーク力を培います。

1年	2年	3・4年

セルフディベロップメント

1年	2年			
☆ SD 101 基礎セルフディベロップメント(リベラル・アーツ7科)	SD 201 芸術のすすめ	SD 202 数学的ものの考え方	SD 203 社会現象を分析する	SD 204 環境学への展望
	SD 205 人間の心理を探る	SD 206 生命科学と人間	SD 207 市民の社会貢献	SD 208 市民生活と権利を考える
	SD 209 現代メディアの探求	SD 210 社会情報と生活	SD 211 日本の歴史	SD 212 外国の歴史
	SD 213 哲学への探索	SD 214 文化人類学への誘い	SD 215 文学を読み解く楽しみ	
	SD 221 ホスピタリティマインド概論	SD 222 ホスピタリティマインド各論	SD 231 プレゼンテーション	

☆ 必修(進級基準科目)
★ 必修科目

必修科目
選択必修科目
選択科目

*各科目の履修条件は開講表を参照

*本学科の発展セルフは、学科選択必修科目(Ⅰ～Ⅵ群から4単位)をもって充足したこととする。

日本語リテラシー

☆ JL 101 日本語リテラシー

外国語 応用

AL 101/102 英語資格・検定試験対策A/B
AL 311/312 International Lectures 1/2

健康科目

1年			2年	
HPE 101 健康体育 1	★ HPE 111 自己の探求	★ HPE 112 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	HPE 201 健康体育 2	HPE 211 オリンピック文化論

建学

1年		2年
★ BDS 101 仏教概説	BDS 111 共生社会	BDS 201 しあわせを考える

情報科目

1年				2年
☆ CLT 101 コンピュータ基礎 1	CLT 102 コンピュータ基礎 2	SIC 103 情報分析・創出・表現技法	SIC 104 プログラミングリテラシー	CLT 211 情報分析力 1

外国語

1年				2年				3・4年	
☆ ENG 101 英語 1 A	☆ ENG 102 英語 1 B	☆ ENG 103 英語 1 C	☆ ENG 104 英語 1 D	ENG 201 英語 2 A	ENG 202 英語 2 B	ENG 203 英語 2 C	ENG 204 英語 2 D	ENG 301 英語 3 A	ENG 302 英語 3 B
☆ CHN 101 中国語 1 A	☆ CHN 102 中国語 1 B	☆ CHN 103 中国語 1 C	☆ CHN 104 中国語 1 D	CHN 201 中国語 2 A	CHN 202 中国語 2 B	CHN 203 中国語 2 C	CHN 204 中国語 2 D	CHN 301 中国語 3 A	CHN 302 中国語 3 B
☆ FRA 101 フランス語 1 A	☆ FRA 102 フランス語 1 B	☆ FRA 103 フランス語 1 C	☆ FRA 104 フランス語 1 D	FRA 201 フランス語 2 A	FRA 202 フランス語 2 B	FRA 203 フランス語 2 C	FRA 204 フランス語 2 D	FRA 301 フランス語 3 A	FRA 302 フランス語 3 B
☆ GER 101 ドイツ語 1 A	☆ GER 102 ドイツ語 1 B	☆ GER 103 ドイツ語 1 C	☆ GER 104 ドイツ語 1 D	GER 201 ドイツ語 2 A	GER 202 ドイツ語 2 B	GER 203 ドイツ語 2 C	GER 204 ドイツ語 2 D	GER 301 ドイツ語 3 A	GER 302 ドイツ語 3 B
☆ SPA 101 スペイン語 1 A	☆ SPA 102 スペイン語 1 B	☆ SPA 103 スペイン語 1 C	☆ SPA 104 スペイン語 1 D	SPA 201 スペイン語 2 A	SPA 202 スペイン語 2 B	SPA 203 スペイン語 2 C	SPA 204 スペイン語 2 D	SPA 301 スペイン語 3 A	SPA 302 スペイン語 3 B
☆ KOR 101 韓国語 1 A	☆ KOR 102 韓国語 1 B	☆ KOR 103 韓国語 1 C	☆ KOR 104 韓国語 1 D	KOR 201 韓国語 2 A	KOR 202 韓国語 2 B	KOR 203 韓国語 2 C	KOR 204 韓国語 2 D	KOR 301 韓国語 3 A	KOR 302 韓国語 3 B

フィールド・ワーク・スタディーズ

★ FW 101 フィールド・スタディーズ
FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4
FW 121/122/123/124/125 海外フィールド・スタディーズ 1/2/3/4/5

インターンシップ

INT 201 インターンシップ(事前研究)
INT 221/222/223 海外インターンシップ1/2/3
INT 211/212/213/214 インターンシップ1/2/3/4

サブ・メジャー

2年	3・4年
SUBM 202 サブ・メジャー(ゼミナール)2	SUBM 312 サブ・メジャー(総合研究)2
SUBM 201 サブ・メジャー(ゼミナール)1	SUBM 311 サブ・メジャー(総合研究)1

寄付講座

1年	2年		
EC 101 寄付講座1	EC 202 証券ビジネス論	EC 204 金融リテラシー(金融と人生設計)	EC 205 未来型都市とメディア

工学部 建築デザイン学科 カリキュラムMAP 2017年度入学生

Department of Architecture

1年	2年	3年	4年
建築計画			
★ ARCH 101 空間表現論 ARCH 102 住居論	★ ARCH 203 設計方法論 ★ ARCH 201 建築計画 ARCH 202 インテリアデザイン1 ARCH 204 建築環境行動	ARCH 302 空間とデザイン ARCH 301 インテリアデザイン2	
建築史・建築論			
ARCH 111 住居史	★ ARCH 211 日本の建築 ARCH 212 西洋の建築	ARCH 311 アジアの建築	ARCH 411 建築文化論
		都市	
		ARCH 321 建築景観論 ARCH 322 都市環境 ARCH 324 環境デザイン ARCH 323 都市防災 ARCH 325 ランドスケープデザイン	
	構造		
	ARCH 232 構造力学1 ARCH 233 構造力学演習1 ★ ARCH 231 建築構造	ARCH 331 構造力学２ ARCH 333 構造力学３ ARCH 332 構造力学演習２ ARCH 334 建築構造デザイン	ARCH 431 建築構造論
環境・設備			
ARCH 141 住宅衛生	ARCH 241 建築と環境 ARCH 242 環境工学	ARCH 341 建築設備１ ARCH 342 建築設備２ ARCH 343 光環境 ARCH 344 音環境	ARCH 441 建築環境論
		生産・材料	
		★ ARCH 351 建築材料 ★ ARCH 352 建築施工法	
		法規	
		★ ARCH 361 建築法規	
設計演習			
★ ARCH 171 基礎デザイン1 ★ ARCH 172 基礎デザイン2 ★ ARCH 173 CAD1	★ ARCH 271 設計製図1 ★ ARCH 273 設計製図2 ★ ARCH 272 CAD2 ARCH 274 CAD3	ARCH 371 設計製図3 ARCH 373 設計製図4 ARCH 372 CAD4	
プロジェクト			
ARCH 181 プロジェクト1	ARCH281 プロジェクト2	ARCH 381 プロジェクト3	ARCH 481 プロジェクト4
ゼミナール			
★ ARCH 191 基礎ゼミ		★ ARCH 391 建築学演習	ARCH 491 卒業研究

★ 必修科目

学科基礎科目

学科基幹科目

学科展開科目

工学部　建築デザイン学科　-2017年度入学生-

卒業所要単位数　2020年度版

☆進級基準科目

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS （27）	必　修 （15）	【建学科目】 仏教概説 ［4単位］	4
		【健康体育科目】 自己の探求［1単位］ 人生の歩き方を考える（キャリアデザイン） ［1単位］	2
		【情報科目】 コンピュータ基礎1［1単位］☆	1
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー［1単位］☆	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント（リベラル・アーツ７科） ［6単位］☆	6
		【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ［1単位］	1
	選択必修 （12）	【発展セルフディベロップメント】 ＜2～４年次＞発展セルフディベロップメント ［2科目4単位選択］ ※発展セルフは学科選択必修科目（4単位）をもって充足することが可能でそれを推奨する。	4
		【外国語】 ＜1年次＞ 1外国語1A～1D [計4単位] ☆ ＜2年次＞ 1外国語2A～2D [計4単位]	8
学科科目 （78）	必　修 （40）	【学科基礎科目】［計12単位］ 【学科基幹科目】［計28単位］	40
	選択必修 （36）	下記①と②の両方の条件を満たすこと。 （ただし、【発展セルフディベロップメント】の充当分とする学科選択必修科目4単位は、当該36単位と重複することはできません。） ①【学科展開科目】のⅠ群～Ⅵ群の科目より36単位を取得し、かつⅠ群～Ⅴ群については、それぞれ次の単位を含むこと。 Ⅰ群から2単位、Ⅱ群から2単位、Ⅲ群から2単位、Ⅳ群から4単位、Ⅴ群から２単位 ②「建築環境論」「建築構造論」「建築文化論」「卒業研究」のうち、6単位を含むこと。	36
	選　択 （2）	学科科目の開講表の単位区分が選択となっている科目 （36単位を超えて取得した学科選択必修科目のうち、【発展セルフディベロップメント】の充当分とする科目を除く単位を含みます。）	2
自由選択科目 （19）		以下の科目から19単位以上を修得すること ① 武蔵野BASIS（所要27単位を超えて修得した単位） ② 学科科目（所要78単位を超えて修得した単位） ③ 武蔵野地域５大学単位互換制度による認定科目 ④ 他学部・他学科履修許可科目 （ただし、履修登録するにはアドバイザーの許可が必要です。登録について、事前にアドバイザーへ相談すること。） ⑤ 日本事情に関する科目 ⑥ 成果に基づき単位認定される科目（「海外語学研修1～4」「資格認定Ⅰ～Ⅶ」「ボランティア活動1	19
合　計			124

※ BASIS進級基準科目（☆）　武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず**「学修の手引き」の「履修計画」や「履修登録」**を参照してください。

工学部　建築デザイン学科　-2017年度入学生-

開講表［BASIS科目］　2020年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	履修条件（◇推奨　◆必須）	備考
【建学科目】						
BDS 101	仏教概説	1年	4			
BDS 111	共生社会	1年		2		
BDS 201	しあわせを考える	2年		2		
【健康体育科目】						
HPE 101	健康体育1	1年		1		2020年度以降は「スポーツと身体科学」を履修して読替
HPE 201	健康体育2	2年		1		2020年度以降は「フィールド・スポーツ」を履修して読替
HPE 211	オリンピック文化論	2年		2		2018年度以降は「オリンピック・パラリンピック文化論」を履修して読替
HPE 111	自己の探求	1年	1			
HPE 112	人生の歩き方を考える（キャリアデザイン）	1年	1			
【情報科目】						
CLT 101	コンピュータ基礎1	1年	1			進級基準科目 2020年度以降は「データ・情報リテラシー」を履修して読替
CLT 102	コンピュータ基礎2	1年		1		2020年度以降は「メディア・人工知能リテラシー」を履修して読替
CLT 211	情報分析力1	2年		1		2020年度休講
CLT 212	情報分析力2	2年		1		2020年度休講
CLT 221	情報表現力1	2年		1		
CLT 222	情報表現力2	2年		1		2020年度休講
SIC 103	情報分析・創出・表現技法	1年		1		
SIC 104	プログラミングリテラシー	1年		1		
【外国語 英語】						
ENG 101	英語1 A	1年		1	【第一外国語（選択必修科目）として履修する場合】 ①英語・中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語のいずれかの言語のうち、1A～2D計8単位を選択必修 ②1A～1D計4単位は進級基準科目 【第二外国語（選択科目）として履修する場合】 ①第二外国語として履修できる言語は、中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語の5カ国語 ②中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語1A～1Dにおいて ◆通年の履修が必須。（1A+1Cのセットで履修、1B+1Dのセットで履修、または1A～1Dの全てを履修の3パターンのいずれか） ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に1年以上の滞在経験がある者は履修不可 ③中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語2A・2Bにおいて ※第二外国語クラスは2Cおよび2Dの開講はありません。 ◆通年の履修が必須。（2A+2Bのセットで履修） ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に2年以上の滞在経験がある者は履修不可 ④中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語3A・3Bにおいて ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に3年以上の滞在経験がある者は履修不可	
ENG 102	英語1 B	1年		1		
ENG 103	英語1 C	1年		1		
ENG 104	英語1 D	1年		1		
ENG 201	英語2 A	2年		1		
ENG 202	英語2 B	2年		1		
ENG 203	英語2 C	2年		1		
ENG 204	英語2 D	2年		1		
ENG 301	英語3 A	3年		1		
ENG 302	英語3 B	3年		1		
【外国語 初修】						
CHN 101	中国語 1 A	1年		1		
CHN 102	中国語 1 B	1年		1		
CHN 103	中国語 1 C	1年		1		
CHN 104	中国語 1 D	1年		1		
CHN 201	中国語 2 A	2年		1		
CHN 202	中国語 2 B	2年		1		
CHN 203	中国語 2 C	2年		1		
CHN 204	中国語 2 D	2年		1		
CHN 301	中国語 3 A	3年		1		
CHN 302	中国語 3 B	3年		1		
FRA 101	フランス語 1 A	1年		1		
FRA 102	フランス語 1 B	1年		1		
FRA 103	フランス語 1 C	1年		1		
FRA 104	フランス語 1 D	1年		1		
FRA 201	フランス語 2 A	2年		1		
FRA 202	フランス語 2 B	2年		1		
FRA 203	フランス語 2 C	2年		1		
FRA 204	フランス語 2 D	2年		1		
FRA 301	フランス語 3 A	3年		1		
FRA 302	フランス語 3 B	3年		1		
GER 101	ドイツ語 1 A	1年		1		
GER 102	ドイツ語 1 B	1年		1		
GER 103	ドイツ語 1 C	1年		1		
GER 104	ドイツ語 1 D	1年		1		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨　◆必須)	備考
			必修	選択		
GER 201	ドイツ語２Ａ	2年		1		
GER 202	ドイツ語２Ｂ	2年		1		
GER 203	ドイツ語２Ｃ	2年		1		
GER 204	ドイツ語２Ｄ	2年		1		
GER 301	ドイツ語３Ａ	3年		1		
GER 302	ドイツ語３Ｂ	3年		1		
SPA 101	スペイン語１Ａ	1年		1		
SPA 102	スペイン語１Ｂ	1年		1		
SPA 103	スペイン語１Ｃ	1年		1		
SPA 104	スペイン語１Ｄ	1年		1		
SPA 201	スペイン語２Ａ	2年		1		
SPA 202	スペイン語２Ｂ	2年		1		
SPA 203	スペイン語２Ｃ	2年		1		
SPA 204	スペイン語２Ｄ	2年		1		
SPA 301	スペイン語３Ａ	3年		1		
SPA 302	スペイン語３Ｂ	3年		1		
KOR 101	韓国語１Ａ	1年		1		
KOR 102	韓国語１Ｂ	1年		1		
KOR 103	韓国語１Ｃ	1年		1		
KOR 104	韓国語１Ｄ	1年		1		
KOR 201	韓国語２Ａ	2年		1		
KOR 202	韓国語２Ｂ	2年		1		
KOR 203	韓国語２Ｃ	2年		1		
KOR 204	韓国語２Ｄ	2年		1		
KOR 301	韓国語３Ａ	3年		1		
KOR 302	韓国語３Ｂ	3年		1		
【外国語 応用】						
AL 311	International Lectures 1	1･2･3･4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1･2･3･4年		1	◆International Lectures1を履修していること。	
AL 101	英語資格･検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格･検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
＜基礎セルフディベロップメント＞						
SD 101	基礎セルフディベロップメント（リベラル･アーツ７科）	1年	6			進級基準科目 2018年度以降は「基礎セルフディベロップメント」を履修して読替
＜発展セルフディベロップメント＞						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		本学科の発展セルフディベロップメントは、学科選択必修科目（Ⅰ～Ⅵ群から4単位）をもって充足したこととする。 左記発展セルフディベロップメント科目を履修する場合は、アドバイザーの許可が必要。
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探索	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
SD 231	プレゼンテーション	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 （◇推奨　◆必須）	備考
			必修	選択		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ１	1年		1		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します。 履修登録は不要です。
FW 112	フィールド・スタディーズ２	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ３	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ４	1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ１	1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ２	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ３	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ４	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ５	1年		6		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ（事前研究）	2年		1	◆シラバスや初回授業に実施するガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ１	2年		1		
INT 212	インターンシップ２	2年		2		
INT 213	インターンシップ３	2年		4		
INT 214	インターンシップ４	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ１	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ２	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ３	2年		8		
【副専攻（サブ・メジャー）科目群】						
SUBM 201	サブ・メジャー（ゼミナール）１	2年		2		
SUBM 202	サブ・メジャー（ゼミナール）２	2年		4		
SUBM 311	サブ・メジャー（総合研究）１	3年		2	◆「サブ・メジャー（ゼミナール）１」または「サブ・メジャー（ゼミナール）２」を履修していること	
SUBM 312	サブ・メジャー（総合研究）２	3年		4		
【寄付講座科目】						
EC 101	寄付講座1	1･2･3･4年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論	2年		2		2020年度休講
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券
EC 203	経済教育論	2年		2		2020年度休講
EC 204	金融リテラシー(金融と人生設計)	2年		2		寄付講座：金融広報中央委員会
EC 205	未来型都市とメディア	2年		2		寄付講座：ビーエスフジ

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

工学部　建築デザイン学科 -2017年度入学生-

開講表［学科科目］　2020年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件（◇推奨　◆必須）	備考
			必修	選択		
【学科基礎科目】						
ARCH 171	基礎デザイン１	1年	2			
ARCH 101	空間表現論	1年	2			
ARCH 191	基礎ゼミ	1年	2			
ARCH 172	基礎デザイン２	1年	2			
ARCH 173	ＣＡＤ１	1年	4			
【学科基幹科目】						
ARCH 271	設計製図１	2年	4			
ARCH 201	建築計画	2年	2			
ARCH 272	ＣＡＤ２	2年	4			
ARCH 273	設計製図２	2年	4			
ARCH 211	日本の建築	2年	2			
ARCH 203	設計方法論	2年	2			
ARCH 231	建築構造	2年	2			
ARCH 351	建築材料	3年	2			
ARCH 352	建築施工法	3年	2			
ARCH 361	建築法規	3年	2			
ARCH 391	建築学演習	3年	2			
【学科展開科目】						
ARCH 102	住居論	1年		2		Ⅰ
ARCH 111	住居史	1年		2		Ⅰ
ARCH 212	西洋の建築	2年		2		Ⅰ
ARCH 321	建築景観論	3年		2		Ⅰ
ARCH 311	アジアの建築	3年		2		Ⅰ
ARCH 241	建築と環境	2年		2		Ⅱ
ARCH 344	音環境	3年		2		Ⅱ
ARCH 343	光環境	3年		2		Ⅱ
ARCH 341	建築設備１	3年		2		Ⅲ
ARCH 342	建築設備２	3年		2		Ⅲ
ARCH 441	建築環境論	4年		2		Ⅲ
ARCH 232	構造力学１	2年		2		Ⅳ
ARCH 233	構造力学演習１	2年		2		Ⅳ
ARCH 331	構造力学２	3年		2		Ⅳ
ARCH 332	構造力学演習２	3年		2		Ⅳ
ARCH 333	構造力学３	3年		2		Ⅳ
ARCH 334	建築構造デザイン	3年		2		Ⅴ
ARCH 431	建築構造論	4年		2		Ⅴ
ARCH 141	住宅衛生	1年		2		Ⅵ
ARCH 202	インテリアデザイン１	2年		2		Ⅵ
ARCH 274	ＣＡＤ３	2年		4		Ⅵ
ARCH 371	設計製図３	3年		4		Ⅵ
ARCH 372	ＣＡＤ４	3年		4		Ⅵ
ARCH 301	インテリアデザイン２	3年		2		Ⅵ
ARCH 323	都市防災	3年		2		Ⅵ
ARCH 322	都市環境	3年		2		Ⅵ
ARCH 373	設計製図４	3年		4		Ⅵ
ARCH 411	建築文化論	4年		2		Ⅵ
ARCH 181	プロジェクト１	1年		2		
ARCH 242	環境工学	2年		2		
ARCH 204	建築環境行動	2年		2		
ARCH 281	プロジェクト２	2年		4		
ARCH 324	環境デザイン	3年		2		
ARCH 302	空間とデザイン	3年		2		
ARCH 325	ランドスケープデザイン	3年		2		
ARCH 381	プロジェクト３	3年		4		
ARCH 481	プロジェクト４	4年		4		
【卒業研究】						
ARCH 491	卒業研究	4年		6		

注意：備考欄にローマ数字がふられている科目及び「卒業研究」は選択必修の科目です。詳細は必ず卒業所要単位表を参照してください。

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

一級建築士モデル

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上履修できない場合があります。

科目区分			1年生	2年生	3年生	4年生	
武蔵野BASIS (27)	必　修 (15)	建学科目	仏教概説 4				
		健康体育科目	自己の探求 1				
			人生の歩き方を考える(キャリアデザイン) 1				
		情報科目	コンピュータ基礎１ 1				
		日本語リテラシー	日本語リテラシー 1				
		基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント 6				
		フィールド・ワーク・スタディーズ	フィールド・スタディーズ 1				
	選択必修 (12)	発展セルフディベロップメント ※学科選択必修科目（4単位）をもって充足することが可能でそれを推奨する。					
		外国語	外国語1A～1D 4	外国語2A～2D 4			
学科科目 (78)	必　修 (40)		基礎デザイン１ 2	設計製図１ 4	建築材料 2		
			空間表現論 2	建築計画 2	建築施工法 2		
			基礎ゼミ 2	ＣＡＤ２ 4	建築法規 2		
			基礎デザイン２ 2	設計製図２ 4	建築学演習 2		
			ＣＡＤ１ 4	日本の建築 2			
				設計方法論 2			
				建築構造 2			
	選択必修 (36)	下記①と②の両方の条件を満たすこと。（ただし、【発展セルフディベロップメント】の充当分とする学科選択必修科目4単位は、当該36単位と重複することはできません。） ①【学科展開科目】のⅠ群～Ⅵ群の科目より36単位を取得し、かつⅠ群～Ⅴ群については、それぞれ次の単位を含むこと。 Ⅰ群から2単位、Ⅱ群から2単位、Ⅲ群から2単位、Ⅳ群から4単位、Ⅴ群から２単位 ②「建築環境論」「建築構造論」「建築文化論」「卒業研究」のうち、6単位を含むこと。	住居論 2	西洋の建築 2	建築景観論 2		Ⅰ群:2単位選択必修
			住居史 2		アジアの建築 2		
				建築と環境 2	音環境 2		Ⅱ群:2単位選択必修
					光環境 2		
					建築設備１ 2	建築環境論 2	Ⅲ群:2単位選択必修
					建築設備２ 2		
				構造力学１ 2	構造力学２ 2		Ⅳ群:4単位選択必修
				構造力学演習１ 2	構造力学演習２ 2		
					構造力学３ 2		
					建築構造デザイン 2	建築構造論 2	Ⅴ群:2単位選択必修
			住宅衛生 2	インテリアデザイン１ 2	設計製図３ 4	建築文化論 2	Ⅵ群
				ＣＡＤ３ 4	ＣＡＤ４ 4		
					インテリアデザイン２ 2		
					都市防災 2		
					都市環境 2		
					設計製図４ 4		
						卒業研究 6	
		推奨取得単位数（学科選択必修科目）	6単位	14単位	-	6単位以上	
	選　択 (2)	プロジェクト1～4を中心に履修計画を立てること。	プロジェクト１ 2	環境工学 2	環境デザイン 2	プロジェクト４ 4	
				建築環境行動 2	空間とデザイン 2		
				プロジェクト２ 4	ランドスケープデザイン 2		
					プロジェクト３ 4		
		推奨取得単位数（学科選択科目）	2単位	8単位	-	-	
自由選択科目 (19)		学科科目を中心に履修計画を立てること。					
履修モデル 計			39単位	46単位	36～38単位	6単位~36単位	
備考			*所要単位を踏まえ、学習意向を鑑み各自選択し履修してください				
年間CAP			**40単位**	**46単位**	**38単位**	**36単位**	
卒業所要単位数			合計124単位以上				

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。
※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。
※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

成果に基づき単位認定される科目 （看護以外） 2020年度版

1．留学の認定科目（科目読替の対象となる単位以外のもの）

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学1	1	学科科目（選択）	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせて通年で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	協定留学2	2		
	協定留学3	4		
	協定留学4	6		
	協定留学5	8		
	協定留学6	10		
	協定留学7	10		
認定（SAP）留学	認定留学1	1	学科科目（選択）	
	認定留学2	2		
	認定留学3	4		
	認定留学4	6		
	認定留学5	8		
	認定留学6	10		
	認定留学7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム1	1	学科科目（選択）	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	短期留学プログラム2	2		
	短期留学プログラム3	3		
	短期留学プログラム4	4		
	短期留学プログラム5	5		
	短期留学プログラム6	6		
	短期留学プログラム7	7		
	短期留学プログラム8	8		
	短期留学プログラム9	9		
	短期留学プログラム10	10		
短期語学研修	海外語学研修1	2	自由選択科目 ※	留学先の学修時間に応じて各語学研修について、2単位から4単位まで認定可能
	海外語学研修2	3		
	海外語学研修3	4		
	海外語学研修4	4		

2．資格試験の合格による認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定Ⅰ	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定Ⅱ	2		
	資格認定Ⅲ	2		
	資格認定Ⅳ	1		
	資格認定Ⅴ	1		
	資格認定Ⅵ	1		
	資格認定Ⅶ	1		

3．本学が認めたボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動１	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間に応じて、1単位から4単位まで認定可能
	ボランティア活動２	1		
	ボランティア活動３	2		
	ボランティア活動４	2		
	ボランティア活動５	4		

4．その他本学が認めた単位認定

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。 各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

●卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※		以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・	

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表［学科科目］ 20XX年度版

<公開年度>
年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数 必修	単位数 選択	履修条件（◇推奨 ◆必須）	備考
【基礎科目群】						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナール	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目選択必修
AABB 102	□○論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>
履修が可能となる学年。（上位学年の科目は履修できません。）

<科目番号（ナンバリング）>
カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング（科目番号）」を確認してください。

<単位数>
必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>
科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>
選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。